

## 【活動レポート】9/18 明晴学園見学記

---

手話による教育を行っている特別支援学校、「明晴学園」の学校見学ツアーに参加しました。

このツアーでは、音声日本語による案内と日本手話による案内の2グループに分かれ、説明を聞きながら校内を回りました。耳の聞こえない子、または聞こえにくい子どもたちが伸び伸びと学校生活を送る様子、またそのためになされている様々な工夫を目の当たりにしました。

例えば、校内放送が大画面のパネル上に表示されたり、時間を知らせるチャイムはパトライトという装置による光だったり……。中でも最も印象的だったのは、第一言語を「手話」とする子どもたちに、第二言語として「日本語」教育を行うという「バイリンガルろう教育」を教育方法の基盤としていることです。この教育方法を重視しているのは国内ではこの学園のみだと聞き、耳の不自由な方々への理解のためにも、教育の機会拡大のためにも、この考えが日本中に広がってほしいと思いました。

私が言語に興味を持つようになった最初のきっかけは、幼い頃に親戚から手話を習ったことでした。様々な言語のうちの一つとして、「日本手話」の勉強にも取り組んでいきたいと改めて思いました。

国際社会学部タイ語専攻1年 市川紗弓

明晴学園のHPは[こちら](#)

日時: 2015年09月30日